

第1回印南町立中学校適正規模検討委員会 議事録

日 時：令和3年4月15日（木） 19時30分～21時10分

出席者：検討委員：全員出席10名

教育委員会：教育長、教育委員

事務局：教育課職員

日 程：・開会

- ・委員委嘱
- ・教育長挨拶
- ・各委員自己紹介
- ・設置要綱の確認（事務局朗読）
- ・委員長の選出及び委員長代理の指名
（委員長に大江輝男氏が選出される。委員長代理に寺前剛氏を指名する。）
- ・教育委員会から検討委員会に諮問をする。（教育長から委員長に諮問書を手渡す）
- ・議事
 - ・教育委員会教育長から諮問内容の説明をする。
 - ・検討委員会で議論を行う。

【議論内容】

委員：統合については、賛成の意見で早く進めてもらいたい。

30年前、印南町学校適正配置の答申を行っているが、当時の答申は生きているのか、それともいったん廃止となり、新たに検討しているのか。

どうゆう認識をもてば良いのか教えて欲しい。

教育長：昭和63年12月26日に出された答申は失効しており、この10年間は4小4中体制できている。今回の件は仕切り直しと考えてほしい。

委員：小学校の統合を抜きにして、中学校だけを考えているのか。小学校の統合も加味しているのか。

教育長：こども園から、小学校、中学校といった園小中連携を図り、系統性、連続性を大切にしたい。将来的には、同じ敷地に建った小中学校を視野にいれながら、まずは中学という形で進めていきたいという考えである。

委員：そもそも適正規模というのには色々な指標があるかと思うが、何か考えているのか。

教育長：国の指標では12から18学級以下が適正学級となっている。国の基準からみると200人でも小規模校である。

委員：国の指標は都市規模で作られている。地方では考えられない。町内での適正規模はせめて2学級である。1年に1回クラス替えが出来るくらいが良いのではないかと。

委員：2学級を適正とすれば、10年後人数が減り1学級となった時に設備が過剰になるのではないかと。

委員：部屋がたくさんあっても少人数指導や個別指導、学習進度別に2クラスに割る等有効に使えるのではないかと。

委員：それについても審議して欲しい。

- 教育長：支援学級や教育相談等にも部屋が必要であり、現状でも部屋が足りない状況である。
ただ、もし将来そういった状況になった時は、社会状況も変化している中で、小学校の統合や小中一貫校等の話が行われていくのではないかと。
- 委員：今回の議論について、適正人数を議論することが大事なのか、教育方針を議論することが大事なのかかわからない。子供たちが相手の意見を尊重し、自発的に考え、選択できるような仕組みを考えることが大事では無いのか。今回の統合が、ただ人数を集めるだけで子供たちの教育につながらないのであれば、しなくても良い。
- 委員：教育を向上、人間作りの為の適正規模、子供同士のコミュニケーションを考えた時に、ある程度生徒数はあった方が良い。適正規模は広い意味での教育につながるのではないかと。
- 委員：数がどうでは無いが、数についての協議は避けては通れない。
それを踏まえた上で、教育の本質を考え、総合的に考えるべきである。
- 委員：こういった説明会は今後もあるのか。
- 教育長：人数が少ないと友達やクラブを選ぶにしても選択の幅がない。選択の幅を広げる意味でも統合か現状維持か判断して頂きたい。今日だけで無く、今後あと何回か議論した上で、一定の方向を示してほしい。具体的などころは、場所、校名、通学等の話は、次の段階である。今のところは、統合か現状維持かの話である。
- 委員：不安や心配を解消して頂けたらと思う。
- 委員：こども園では、子供は集団の中で、学んだり助け合ったりして下さいと保護者に説明している。少人数では子どもの成長にどうかと思うので統合については良いと思う。
- 委員：小学校の現状では少人数であるから、どのクラスもきめ細やかな指導が出来ているが、ある程度の人数でもまれるということは、コミュニケーションの力、判断する力、友達と学びあって深めるために、人数は必要であると考えます。
- 委員：小規模のいいところは手厚い指導が出来るところであるが、資料にもあるように現場からのアンケートからも統合に賛成している声があがっている。私個人の考えだけでなく、現場の声を聴いて頂けたらと思う。
- 委員：統合することで地域のつながりが無くなって寂しくなるが、父兄も統合を望んでいる。こどもの環境を考えると統合には賛成である。
- 委員：印南町の出生率は年50人程度であり、今後増えることは無い。生まれる数も考慮しながら適正規模について議論すべきである。
- 委員：総論としては統合すればいいのではと考えるが、4校を一番人数の多い学校に統合するのか、それとも全く新しい学校を作るのか。
- 教育長：それについては白紙であるが、教育委員会としては新設をして頂きたいという考えである。
うまくいっている人数の少ない学校は家庭的で楽しいが、子供たちには色々な条件の中で幸せになれるように育ってほしい。
- 委員：目的と手段と本質を明確にして欲しい。
- 教育長：今回一回で終わりではないので、今日の色々な意見と資料（今までの説明会の意見やアンケート）を踏まえた上で、判断をして欲しい。
- 委員：何回の会議でどうゆうことを決めるのか。
- 委員：統合を進めるか現状維持かを論理的にすすめる会ではないかと。
- 委員：反対意見を明示して欲しい。

教育長：出来る限りのたくさんの意見を聞きたいと、各会の代表者会やすべての校区を回り、意見を頂き、またアンケートをとったりしてきた。その資料を提示させて頂いている。

委員：今後、教育委員会から議会に提出するのか。

教育長：これまでたくさんの意見を聞いてきた。はやく統合しろとの意見が多い。委員の皆さんで統合か現状維持かの判断をし、答申を出して頂きたい。

委員：今は、前段階の話ということか。

教育長：統合するか現状維持かの判断です。答申を出して頂き、町長へ報告することとなる。

委員：次回5月中に開催するので、それまでにもう一度考えてきてください。

教育長：最後に一言。切目中学校、印南中学校は津波の浸水地域であるので解消したい。そのために安心、安全な場所へ新設したいとの教育委員会の考えを町長に報告している。

委員：新設で高台という認識で良いか。

事務局：新設で津波が来ても安心、安全な場所である。